

広報誌 すこやか

第39号



第51回 日本人間ドック学会盛會に終わる

第51回日本人間ドック学会学術大会（学術大会長＝吉田威・医療法人社団慶友会吉田病院理事長・病院長）が、8月26、27の2日間、旭川市内の旭川市民文化会館、旭川グランドホテルで開催されました。全国から入場者数延べ3000人が集う大きな会となり、今学術大会のテーマである「医療の新たなうねりのなかで－健康創造－」を掲げ、シンポジウムを中心に特定保健指導の取り組み、糖尿病の診断基準などの今後の人間ドックの方向性が示されました。



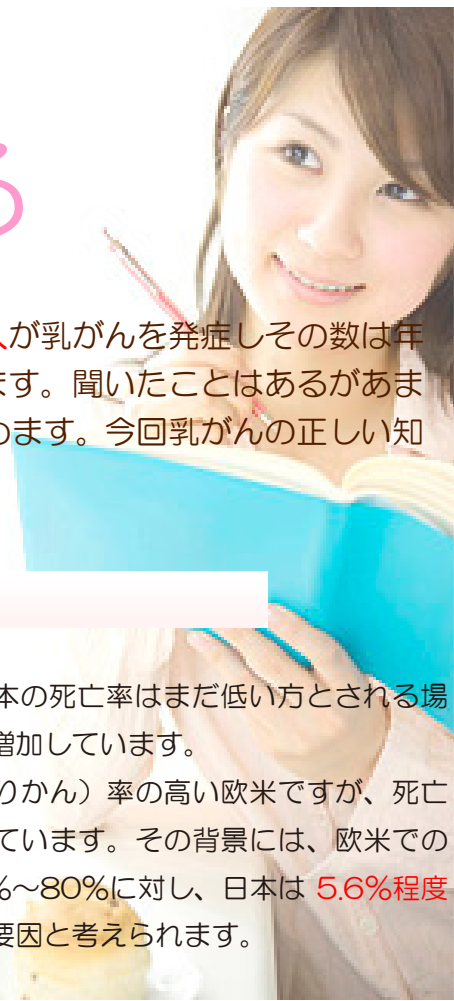
医療法人社団慶友会吉田病院理事長・病院長 吉田威



会場『グランドホテル』にて

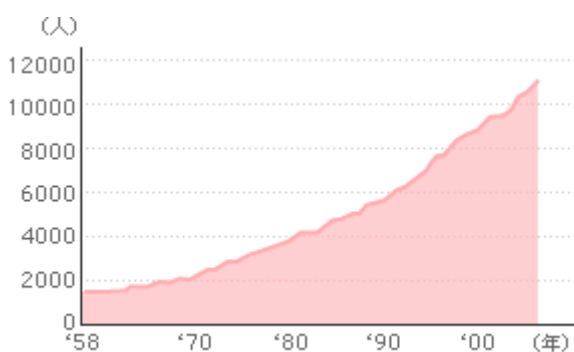
学術大会長講演で吉田威理事長が「健診29年間の集大成と展望」と題し、これまでの慶友会の健診センター、人間ドックの軌跡とこれからの健診医療に対するビジョンを大会長の視点からわかりやすくお話して頂きました。

乳がん



みなさんご存知でしょうか？ 今日本ではおよそ**20人に1人**が乳がんを発症しその数は年間3万人を越えると見られ、**女性のがんの第1位**になっています。聞いたことはあるがあまり知らないという方、まだ若いから大丈夫という方が大半を占めます。今回乳がんの正しい知識と予防法について徹底解剖します。

乳がん死亡数の推移



諸外国に比べ、日本の死亡率はまだ低い方とされる場合もありますが年々増加しています。

日本よりも罹患（りかん）率の高い欧米ですが、死亡率はどんどん下がっています。その背景には、欧米での乳がん検診率が70%~80%に対し、日本は**5.6%程度**ということも大きな要因と考えられます。



左のグラフを見ると乳がんは20代から発生を認め、**30代から急激に増え**はじめ、40代後半から50代前半でピークを迎えることがわかります。乳がんは他のがんと比較すると、**中高年層の若い女性**が罹患（りかん）するがんであることが言えます。

乳がんになりやすい要因

これまでの研究で**乳がんにかかりやすい人**に共通する要因がわかってきました。乳がんの発生には、遺伝的要因と環境的要因があり、それらの要因をリスクファクターといいます。以下の要因にあてはまる人はよりかかりやすい状況にある、ということですので積極的に検診を受けるようにしましょう。

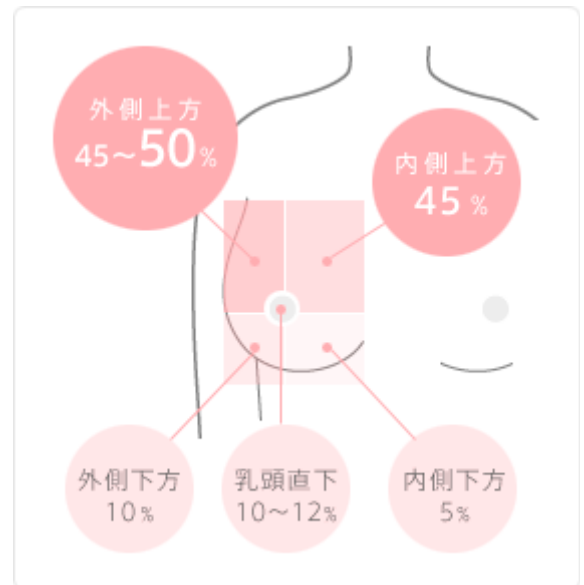
- ① 月経のある期間が普通の人より長い
 - ・ 11歳以下で初経があった人、閉経が55歳以降の人
 - ・ 出産経験のない人
 - ・ 35歳以上で初産を経験した人
- ② 標準体重を2割超えている人、肥満の人(とくに閉経後の肥満)
- ③ 母親や姉妹など近親者に乳がんになった人がいる場合
- ④ 避妊薬のピルや女性ホルモン、副腎ホルモン剤を常用している人
- ⑤ アルコールを飲む機会が多い人



乳がんのできやすい場所

乳房の外側上部に多くみられます。他の部分より乳腺が多いため、約半数がここに集中しています。その次に多いのが乳房内側上部、外側下部です。

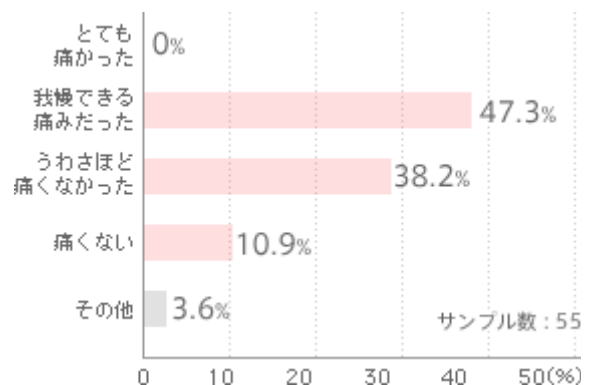
乳がんの初期に痛みはほとんどありません。かたい根のあったようなしこりが多くみられます。しかし、がんの性質によってもかたさや症状は様々ですから、決して自己判断ではなく、専門医による検査を受けましょう。もし、しこり以外にも次のような変化があった場合は、すぐに専門医の診察を受けましょう。



マンモグラフィ検診は、痛い？ 怖い？

マンモグラフィ検診では、できるだけ薄く乳房を挟んで固定する必要があります。そのため、乳房を挟んで押さえるときに痛みを伴うことがあるといわれ、「マンモグラフィ検診=痛そう」というイメージを抱いている女性も少なくありません。ある調査によると痛みの感じ方に個人差はあるものの、**多少の痛みを伴うことは受け入れる**との回答が多かったようです。

マンモグラフィ検診は、生理前を避けるとある程度の痛みを軽減することが可能です。また、男性でも受けられるともいわれるぐらい、**胸の大きさに関係なく**受診が可能な検査です。



乳がん検診



当院では乳がん検診を普及させるべく乳がん撲滅キャンペーンと題し下記の通り**低料金**で乳がん検診を実施することとなりました。

マンモグラフィーの痛みのイメージだけで検診をためらっていませんか？乳がんを発見するために**検診はとても重要です**。勇気を持って一度受診しましょう。

- 日時 隔週金曜日14時～(問い合わせください。)
- 内容 マンモグラフィー、乳腺エコー、触診
- 担当医 乳腺外科専門医
- 料金 2000円

吉田病院外来にて順次予約を承っていますのでお問い合わせください。

外来診療担当医師シフト表

		月	火	水	木	金	土
午前	内科	武田寛樹 (循環器)	武田寛樹 (循環器)		武田寛樹 (循環器)	武田寛樹 (循環器)	(武田寛樹) (岩島保法) (岡田瑞穂) (馬場勝義) (横田欽一) (上田修) (武内周平)
		平井克幸 (血液)	馬場勝義 (一般内科)	平井克幸 (血液)	馬場勝義 (一般内科)	平井克幸 (血液)	
		横田欽一 (消化器)	横田欽一 (消化器)			横田欽一 (消化器)	
		鈴木まゆみ (呼吸器・漢方)	鈴木まゆみ (呼吸器・漢方)	鈴木まゆみ (呼吸器・漢方)		鈴木まゆみ (呼吸器・漢方)	
		上田修 (一般内科)	上田修 (一般内科)	上田修 (一般内科)	上田修 (一般内科)	上田修 (一般内科)	
		【呼吸器】 奥村俊介 (旭医大)	【呼吸器】 大崎能伸教授 (旭医大)	【循環器】 佐藤伸之准教授 (旭医大)	【漢方】 村主明彦 (北里)予約制	【呼吸器】 豊嶋忠理 (旭医大)	
		武内周平 (放射線)	武内周平 (放射線)	武内周平 (放射線)	岩島保法 (糖尿)	岡田瑞穂 (糖尿)	
		▲峯松秀樹 (一般内科)	▲峯松秀樹 (一般内科)	▲峯松秀樹 (一般内科)	▲峯松秀樹 (一般内科)	▲峯松秀樹 (一般内科)	
			府川悦士 (一般内科)	岡田瑞穂 (糖尿)		【臨床遺伝】 蒔田芳男教授 (旭医大) 予約制	
	肝臓病センター	吉田威院長	吉田威院長	吉田威院長	吉田威院長	吉田威院長	
	府川悦士	◎古川博之教授 (旭医大) 紀野修一准教授 (旭医大)	府川悦士	大竹孝明 (旭医大)			
糖尿病センター	岩島保法	岡田瑞穂	岩島保法	岡田瑞穂	岩島保法		
外科	工藤浩市	工藤浩市	工藤浩市	工藤浩市	工藤浩市	(工藤浩市)or	
整形外科	井上謙一	☆吉岡研之(慶応)	井上謙一	井上謙一	井上謙一	(井上謙一)	
午後	内科(前半)	横田/鈴木	鈴木/府川	武内周平	鈴木/横田	鈴木/馬場	
	内科(後半)	上田修	岡田瑞穂	上田修	岩島保法	上田修	
	整形外科	■井上謙一	☆吉岡研之(慶応)	■井上謙一	■井上謙一	■井上謙一	
	その他	【メンタルヘルス・睡眠クリニック】 ★千葉茂教授 (旭医大) 予約制			【漢方】 ☆村主明彦予約制 (北里研究所 解毒薬学総合研究所)	【乳腺外来】 北田博徳教授 (旭医大) 佐藤博(旭医大) 工藤浩市	
				【内分泌・膠原病】 ■府川悦士	【内分泌・膠原病】 ■府川悦士		

※各医師の都合により診察日・時間等の変更がある場合がございます
ご了承ください。(受診の際は事前にお問い合わせ下さい)

※土曜日の診察医師は交代制となっております。

※午後内科外来の時間は 前半 13:30~15:30
後半 15:30~18:00 です。

※出張医・派遣医は青文字で記載しております。

※◎印の古川博之医師の診察は月2回となります。

※☆印の慶応大学出張医・村主医師の診察は16時までとなります。

※■印の井上・府川医師の外来は16:30までの受付となります。

※★印の千葉茂医師の受付は13:00~15:00までとなります。

※▲印の峰松秀樹医師の診察は隔週となります。

※金曜日の乳腺外来は14:00~17:00までの医師交代制となっております。

※上記のシフト表は平成22年10月13日現在のものです。

その他の外来のご案内

眼科— 毎週木曜日(午前): 旭医大眼科派遣医師
婦人科— 毎週木曜日(午前): 旭医大婦人科派遣医師
甲状腺— 毎月第4土曜日: 島袋嘉修医師(島袋内科医院)
歯科— 月曜~土曜日(第1・3土曜休診): 小西文医師
 月2回(月)在宅診療: 小西文医師
 院内診療: 馬淵 亜希子医師(北大口腔外科)
 : 小堀 善則医師(北大口腔外科)

